

技術研究所の紹介

朝日工業社の技術研究所では、建築設備あるいはその周辺分野における技術に関して、お客さまや社会の要求に応えるシステムや装置を研究開発し、提供しています。特に、ZEB空調システムや最適制御による省エネの推進、脱臭・VOC対策を中心とした空気に関する環境改善やグリーン化手法の提案、アグリバイオ分野での植物生育のための最適環境の提供、施工現場でのICT活用による業務効率化に向けた支援等に積極的に取り組んでいます。

これからも、長年培ってきた空調技術と最新のIoT技術を駆使し、持続可能な社会の実現に努めていきます。



主な研究開発

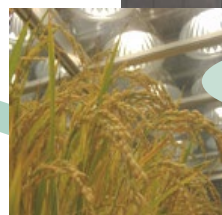


ZEB空調システム

低温再生デシカント空調機



液冷空調システム



イネ栽培室

人工光型
植物栽培施設



多段栽培装置



臭気・VOC試験室



光触媒脱臭装置
「デオシグナル」

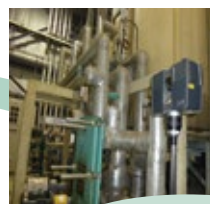
脱臭・VOC対策技術

P39-40にて、脱臭・VOC
対策技術をご紹介します。

作業環境改善技術

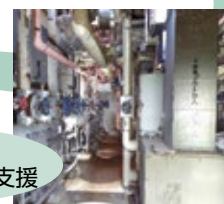


「オイルミストコレクタ」



3Dスキャナ
による計測風景

3Dスキャナ
計測による施工支援



計測後の点群処理結果例

TOPICS

新規低コスト完全人工光型栽培装置の開発

植物工場では、従来の露地栽培と比べてエネルギーコストが高いことが課題として挙げられます。その対策として、農業界と経済界が連携した生産性向上モデル農業の確立に向けた取り組みが行われており、当社は、農林水産省による「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」(2015年から3年間)に参画しました。この事業では、ベルグアース(株)、日鉄鋼板(株)、ツジコー(株)およびデザイナーフーズ(株)とコンソーシアムを形成し、各社の保有技術に当社の効率的な空調システムを組み合わせることで、機能性野菜栽培および苗生産が可能な低コストかつ屋外設置可能な完全人工光型栽培装置を開発しました。

